

第 2 回加東市行財政改革推進委員会 会議の概要

開催日時	平成 18 年 1 1 月 7 日（火） 午後 3 時～午後 5 時 1 5 分
開催場所	加東市役所社庁舎 3 階 第 1 委員会室
出席状況	委 員：1 1 名（1 名欠席） 市 側：安田助役 事務局：企画部企画政策課長以下 2 名
会 議 の 概 要	
<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 川本委員長 安田助役</p> <p>3 協 議</p> <p>（1）加東市行財政改革推進委員会委員の意見とその対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第Ⅱ部加東市行財政改革大綱実施計画（集中改革プラン）（案）」に対する委員の意見について、市の対応を説明し、協議する。 <p>（2）加東市行財政改革大綱（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第Ⅰ部加東市行財政改革大綱（素案）」を示し、委員から意見を求める。 〔期限：平成 18 年 1 1 月 1 7 日（金）〕 ・参考資料として、加東市水道事業中期経営計画（素案）及び加東市病院事業中期経営計画（素案）を示す。 <p>（3）第 3 回加東市行財政改革推進委員会の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年 1 1 月 2 4 日（金）午後 6 時～8 時 社福祉センター 2 階レク室 <p>4 そ の 他</p> <p>5 閉 会</p>	

【加東市行財政改革推進委員会の運営等について】

- ・行財政改革推進のスケジュールについて、委員の任期は2か年であるのに、本年の12月に行財政改革推進の答申をしなければならないのは何故か。
(→行財政改革は、取組期間の中で推進していかなければならないが、その方向性を示す大綱及び実施計画(集中改革プラン)は本来、国の指針により平成17年度中に策定・公表すべきものであったが、合併により猶予されていたため、策定を急いでいる。)
- ・推進委員会は、行財政改革を推進する立場として諮問を受けて議論しているので、基本的な方向性(総論)について共通認識のもと、議論(各論)を進めていかなければならない。将来的には庁舎を一本化すると考えられるが、財政状況から直ちにとすることは難しい。よって、現状を踏まえて、どこまで行財政改革を推進していくのかという議論が必要だと思う。
- ・推進委員会は、チェック機能を発揮するためにも、大綱策定後の開催が必要である。また、他の審議会等も含めて、市民の意見を汲み取り、その結果をフィードバックしていかなければならない。

【第Ⅱ部実施計画(案)に対する委員の意見とその対応について】

〔実施計画(案)全体について〕

- ・委員の意見に対する市の対応は、総論的に「官から民へ」という行財政改革の大前提が示されていない。また、行財政改革を推進する市のスタンスが見えてこない。
- ・担当課によって取組に温度差があり、取組が弱いと感じる担当課もある。
- ・時間的な制約があるので、実施計画(案)で示された大きな取組項目ごとに、ポイントを定めた行財政改革を打ち出していけばどうか。
- ・「官から民へ」の流れは十分理解しているが、病気の方や高齢者など社会的弱者に対するサービスには、お金を使うことも必要だと思う。

〔公用車台数の適正化について〕

- ・公用車台数を平準化し、その中でレンタカーやタクシーの利用を考えることが必要だ。
(→公用車の管理体制は、19年度を目処に一括管理体制に移行する。)
(→タクシーの利用は、市民の理解が得られるか疑問に思う。)
- ・公用車台数の適正化について、次回の委員会で市の考えを示すこと。

〔前納報奨金の廃止について〕

- ・前納報奨金の廃止に対して、委員全員が反対であることを尊重すべきである。
- ・近隣市町の前納報奨金の廃止に、同調する必要があるのか。

主な意見の要旨等〔()は事務局等の回答〕

〔選挙公営について〕

- ・「加東市議会議員及び加東市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」の制定は理解できない。推進委員会として、この条例の改正を提言すれば良いのではないか。

〔市税の滞納状況について〕

- ・市税の滞納状況の資料提出を求める。
(→すべてが個人の滞納ではなく、固定資産税などで法人の滞納も含まれる。)
(→法人・個人別の滞納件数や滞納額の資料を次回の委員会で示す。)

〔ケーブルテレビの運営について〕

- ・CATVの有効性は認識しているが、取材等は民間委託するなど運営を工夫できないか。
- ・CATVの目指す番組づくりは心の交流であるので、民間委託の推進ばかりでなく心の部分も考える必要がある。
(→民間委託の受け皿の有無について、再度調査・検討する。)
(→行政機関が運営する農村型CATVは採算が取れない事業であるが、福祉やその他のサービスを付加することにより、行政が行う優位性が発揮できると考える。)

〔公立社総合病院の経営改善について〕

- ・病院経営検討の外部プロジェクトの発足はいつ頃を予定しているか。
(→院内プロジェクトでの経営改善の進捗をみながら検討していくが、人選・予算を伴うものであり、次年度以降の設置を目指す。)

〔法人市民税の超過課税の実施について〕

- ・超過課税の実施は、実施期間を定めて導入しないと、企業の負担は大きい。
- ・導入目的を明確にし、目的達成のためにしっかり取り組んでほしい。

〔議員定数の適正化について〕

- ・市議会議員の定数削減について、推進委員会として提案(答申)したい。

〔その他〕

- ・外部評価システムは、取組期間中に調査・研究とせず、導入・設置を明確にしてほしい。
- ・加東市が考えるパブリックコメント制度とは、どのような制度か。
(→今後、統一的な基準を定め、取り組むべきことと考えている。)
- ・重複している組織(部課)を統廃合し、将来的に組織のスリム化を望む。